

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	再生医療実用化研究実施拠点整備事業			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	平成26年度	担当課室	研究開発振興課		課長：森光 敬子		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (平成25年法律第85号)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ヒト幹細胞臨床研究の中心的役割を担う基盤として、ヒト幹細胞の臨床応用の標準的な方法、基準値などを確立する研究、ヒト幹細胞アーカイブの整備の研究等、再生医療の臨床研究や創薬研究を実施する病院、研究所の連携を図り、各々の研究成果を集約するとともに、実用化のための各種基準を作り出し、再生医療実用化を促進するための体制を整備することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ヒト幹細胞臨床研究の中心的役割を担う基盤として、病院、研究所の連携を図り、各々の研究成果を集約する医療機関に対し、先端的な臨床研究を実施するための設備や、細胞培養加工に伴う消耗品費等の必要な体制整備を行う。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	0		
		補正予算	365	290	-	-			
		前年度から繰越し	-	365	290	-			
		翌年度へ繰越し	▲ 365	▲ 290	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	365	290	0	0		
	執行額			365	288				
執行率 (%)		-	100%	99%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平成29年度にiPS細胞を用いた臨床研究又は治験の開始を4課題まで引き上げる。	iPS細胞を用いた臨床研究又は治験数	成果実績	研究数	0	0	0	-	
			目標値	研究数	0	0	0	-	4
			達成度	%	0	0	0	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	再生医療実用化研究実施拠点数	活動実績	機関	0	2	2	-		
		当初見込み	機関	2	2	2	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	X / Y		単位当たり コスト	円	-	182,549,500	143,777,000	-	
	X:「執行額」 Y:「再生医療実用化研究実施拠点数」		計算式	X/Y	-	365,099,000/2	287,554,000/2	-	
平成28・29 年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	計	0	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	-											
		施策	-										
	測定指標		定量的指標				実績値	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
						-		-	-	-	-	-	
						目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	-												
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-									
			(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				成果実績	単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標
						-	-		-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-			
				達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)				成果実績	単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
							-	-	-	-	-	-	
						目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													
事業所管部局による点検・改善													
国費投入の必要性	項目					評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、国費を投入すべき。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、民間にゆだねることはできない。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められていることから優先度が高い。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					△	当該事業は、文部科学省で実施している「再生医療実現拠点ネットワークプログラム事業」と連動し、再生医療等の実用化を促進するため、再生医療等の提供機関間の連携を図り、研究成果を集約する拠点としての体制を整備することを目的としており、支出先については、文部科学省と連携して選定している。						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。					○	当該事業の実施に必要な経費のみを予算計上している。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	当該事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	事業内容の達成のために必要な経費のみの計上となっている。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-						
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					-	-						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					○	事業内容を達成するため、必要な経費のみの計上となっている。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	見込み通り事業を実施できた。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					-	-						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					○	類似事業では、ヒト幹細胞の情報データベースの構築、再生医療実用化研究実施拠点の整備、細胞培養加工施設の許可に係る調査、法律に基づき厚生労働省に提出された再生医療等の提供計画等の台帳管理及び検証等を実施しており、本事業とは役割が異なるため、適切な役割分担となっている。						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名										
	厚生労働省医政局	230	ES細胞・iPS細胞臨床研究指针对策費										
	厚生労働省医政局	234	ヒト幹細胞情報化推進事業										
厚生労働省医政局	240	再生医療促進事業費											
点検結果・改善	点検結果	平成26年度は補正予算であったため、年度内の執行が間に合わず平成27年度に全額繰り越したが、平成27年度で無事執行することができた。											
	改善の方向性	先端的な臨床研究を実施するために必要な体制を整備するという事業の目的を達成することができたので本事業を廃止することとした。											

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り終了

当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。

備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	229	平成27年度	237	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
288百万円



【随意契約(公募)】

A. 病院等 2機関  
288百万円

[再生医療実用化のための各種基準を作成するために必要な人材、医療機器等の体制整備]

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

